

訪問 & 病院看護師向け 臨床研究・治験研修会

あなたの担当患者 が治験に参加する!

学ぶべき ポイント

～DCT(分散型臨床試験)についても知ってみよう～

\FREE/
参加無料



2026年
2月7日(土)
13:00~16:40

対象者

- 訪問看護師
 - その他の医療従事者
 - 病院看護師
 - 臨床研究・治験に関わる者
- (管理職の方もぜひご参加ください。)

開催方法: オンライン ZOOM

お申込み

申込フォームにアクセスし、
必要事項をご入力ください。



主催



京都大学
医学部附属病院



大阪大学
医学部附属病院



神戸大学
医学部附属病院

問合せ先

京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構 臨床研究推進部

[TEL] 075-751-4628 [E-mail] event_iact@kuhp.kyoto-u.ac.jp

令和7年度厚生労働省 臨床研究総合促進事業 臨床研究・治験従事者等に対する研修プログラム

今年度は

2回開催!

今年度は同一の講義テーマにて
2日程本研修会を開催いたします。



2026年**1月30日(金)** 14:00~17:40
オンラインZOOM

もあります!

訪問＆病院看護師向け 臨床研究・治験研修会



従来、臨床研究・治験は、病院をはじめとする医療機関内で実施されてきました。

しかし、高齢者や難病などに罹患された患者にとって、通院は大きな負担であり、近年は来院が困難な患者に優しい環境づくりが期待されています。

DCT（分散型臨床試験）と言われる方法がグローバルを中心に導入されており、わが国でも拡大をみせていることを、皆さんにはご存じでしょうか。

DCTとは、投薬・診察・検査・評価・観察などを医療機関で来院することなく行う方法です。オンライン診療やウェアラブルデバイス、ITツールなどを活用することで患者の自宅や介護施設等にて治験に参加できるようになります。

この新しい仕組みでは、患者の日常を知り医療を提供する看護職（訪問看護師・病院看護師）の役割は大きく、臨床研究・治験の理解を深める教育は不可欠といえます。

DCTが普及することで、病院が遠方にあることや通院のための手段がないことで臨床研究・治験参加を諦めていた患者も、治験参加の可能性が生まれます。身近な看護職が臨床研究・治験についての知識があることで患者は心理的にもどれほど安心なことでしょうか。また、ある日突然にDCT導入が始まった際に、医療者として不安なく取り組むためには知識を持っていることが重要です。

ぜひ、この研修会を新たな医療を創る担い手としてご活用いただければと思います。

プログラム program



2026年2月7日(土) 13:00~16:40

配信場所 京都大学医学部附属病院

・イントロダクション

九州大学病院 船越 公太 先生

・臨床薬理学の基礎

岡山大学病院 田中 雄太 先生

・プロトコル・治験薬概要書の読み方

京都大学医学部附属病院 佐藤栄里子 先生

・臨床研究の歴史／倫理的ガイドライン制定の経緯 ・研究協力者として必要な倫理的态度

北里大学 有田 悅子 先生

・治験・臨床研究に関わる人々の役割

大阪大学医学部附属病院 松本マリ子 先生

・治験薬管理の実際

帝京大学医学部附属病院 森山 菜緒 先生

・モニタリング、監査、規制当局による査察の理解 ・有害事象発生時の対応

北九州市立病院機構 稲田実枝子 先生

・臨床試験の実施に関わる費用と制度

岡山大学病院 黒田 智 先生

・データの品質を保証するためのプロセス

和歌山県立医科大学附属病院 北山 恵 先生

●本研修では、各講義にて質疑応答等双方向によるディスカッションを予定しております。

●本研修では、皆さまからの事前の質問を受け付けておりますので、ご質問がある場合は、申込フォーム最後の設問にご記入ください。